

# 事前研修報告

Hoang Van Anh

副部長

会員・研修部

ベトナム商工会議所 - VCCI

# 目次

- ▶ 自己紹介
- ▶ VCCIの概要
- ▶ ベトナムにおけるCOVID 19による労働問題に関する情報
- ▶ 質疑応答

# VCCIの概要

- ▶ 1963年に設立されたベトナム商工会議所(VCCI)は着実な発展を遂げ、ベトナムを代表する振興機関となった。ベトナムの事業環境を一步ずつ改善し、国際貿易におけるベトナムの地位を高めるために、実業界や事業者に対する確実な支援や弁護サービス等、国内全土において様々な活動を行っている。
- ▶ ハノイに本部を置くVCCIは、実業界に対する活動を拡大し、機能的活動の質を高めるために、主要な経済的・戦略的区域/都市に9つの支所/出張所を擁している。ベトナムの使用者団体を代表する本商工会議所は、55年以上の実績の中で、最大限効率的に多大な重要任務を遂行し、ベトナムにおける事業の発展と使用者の活動を積極的に統合してきた。

# 自身の職位と責任

- ▶ VCCIの機能的部門である会員・研修部は、企業情報、政策導入、対話、研修サービス、取引及び投資関係といった事業関連の課題に対応し、会員企業及び非会員企業を管理、発展、支援する役割を担っている。VCCIは、労働及び労働組合に関するILO宣言を含む二国間又は複数国間協定への参加というベトナムの責任を果たすために、法令の統合や新たな決定の際の難題を含む事業関連の課題に対応するために法律文書の作成及び承認の取得において最善を尽くしてきた。
- ▶ 私はVCCIの会員・研修部の副部長として、主に、能力強化及び法律文書作成ガイドラインに関する研修コースの手配に責任を負っており、文書の編集及び提案、政府組織、大学、職業訓練センター及び実業界間のオリエンテーション及び協カスキームに従事している。また、使用者及び被雇用者間、使用者及び労働組合間の協力に関する対応についても担当している。VCCIの主要職員の一員として、首脳陣による外国訪問の際には事業者代表団の重要任務を担っている。

# COVID 19とともに ベトナムにおいて台頭する労働問題

▶ 過去数年にわたり継続的な発展と多大な功績を収めたベトナムは、2020年においても全国的にさらなる発展を遂げる大きな希望を抱いていた。しかし、COVID 19の流行によりすべてが水の泡に帰した。2020年は、概してベトナムを含む全世界の経済にとって困難な年であったとされている。世界経済は、過去最悪の不況に見舞われると予測されている。主要経済大国の成長率は、Covid-19流行の悪影響により激しく落ち込んだ。しかし、ベトナムではGDP成長率が2.91%上昇すると予測されており、ベトナム経済は成長を維持している。

# COVID 19とともに ベトナムにおいて台頭する労働問題

- ▶ ベトナム統計局により報告された労働問題に関する下記の数値は、ベトナム労働市場において生じた出来事を明白に示している。
- ✓ 国内全土の15歳以上の3,210万人の人々がCOVID-19の悪影響を受けた。
- ✓ 第3四半期の回復期と並行して労働力人口は継続的に増大しているが、パンデミック前の数値までには回復していない。
- ✓ 概して2020年の15歳以上の労働力人口は5,460万人であった。-120万人の減少
- ✓ COVID-19は、多くの失業者を出し、非正規な労働に従事せざるを得なくなった者もいる。2019年と比較すると、2016年～2019年における年間平均労働力人口は、0.8%増加している。2016年～2019年と同様の成長率でCOVID-19流行の影響がなかった場合を想定すると、ベトナム経済の労働者は160万人増えると予測される。つまり、COVID-19の流行は、160万人もの人々から雇用機会を奪った可能性がある。

2020年1年間の非正規労働者数は、2019年度比で119,100人増加し、2,030万人であった。一方で正規労働者数は、21,100人減少し、1,580万人であった。2020年の非正規雇用率は56.2%で、2019年と比較し0.2%高かった。

# COVID 19とともに ベトナムにおいて台頭する労働問題

▶ 概して2020年における不完全雇用者数は高く、COVID-19は多くの者から正規の雇用機会を奪っただけでなく、多くの者を不完全雇用へ追い込んだ。しかし、この状況は、2020年の第4四半期には大幅に改善された。

不完全雇用者の大多数が、技術的又は専門的な訓練を受けていない。より高い専門性及び技術を有する労働者ほど、不完全雇用率が低くなる。2020年の技術的資格を持たない労働者の年齢別不完全雇用率は2.87%、小卒者が2.25%、中卒者が1.58%、大学または専門学校が1.52%、大卒者以上が1.04%であった。

2019年と比較し、2020年の労働者の月次平均所得は、全3経済部門で減少した。

2020年第4四半期の被雇用者の平均月次所得は570万VNDであった。前四半期から212,000VNDの増加、前年同期から108,000VNDの減少であった。COVID-19が発生していない通常の下況下においては、第4四半期の労働者の所得は他の四半期よりも相当に高くなる傾向にある。2019年の第4四半期の労働者所得は、2019年の第3四半期よりも20万VND高い580万VNDであり、同年の他の四半期の中では最高額であった。2020年のCOVID-19の蔓延下において、第4四半期の労働者の平均月次所得は、年間成長率を維持できなかつただけでなく、同年の第1四半期及び前年同期と比較し大幅に減少した。

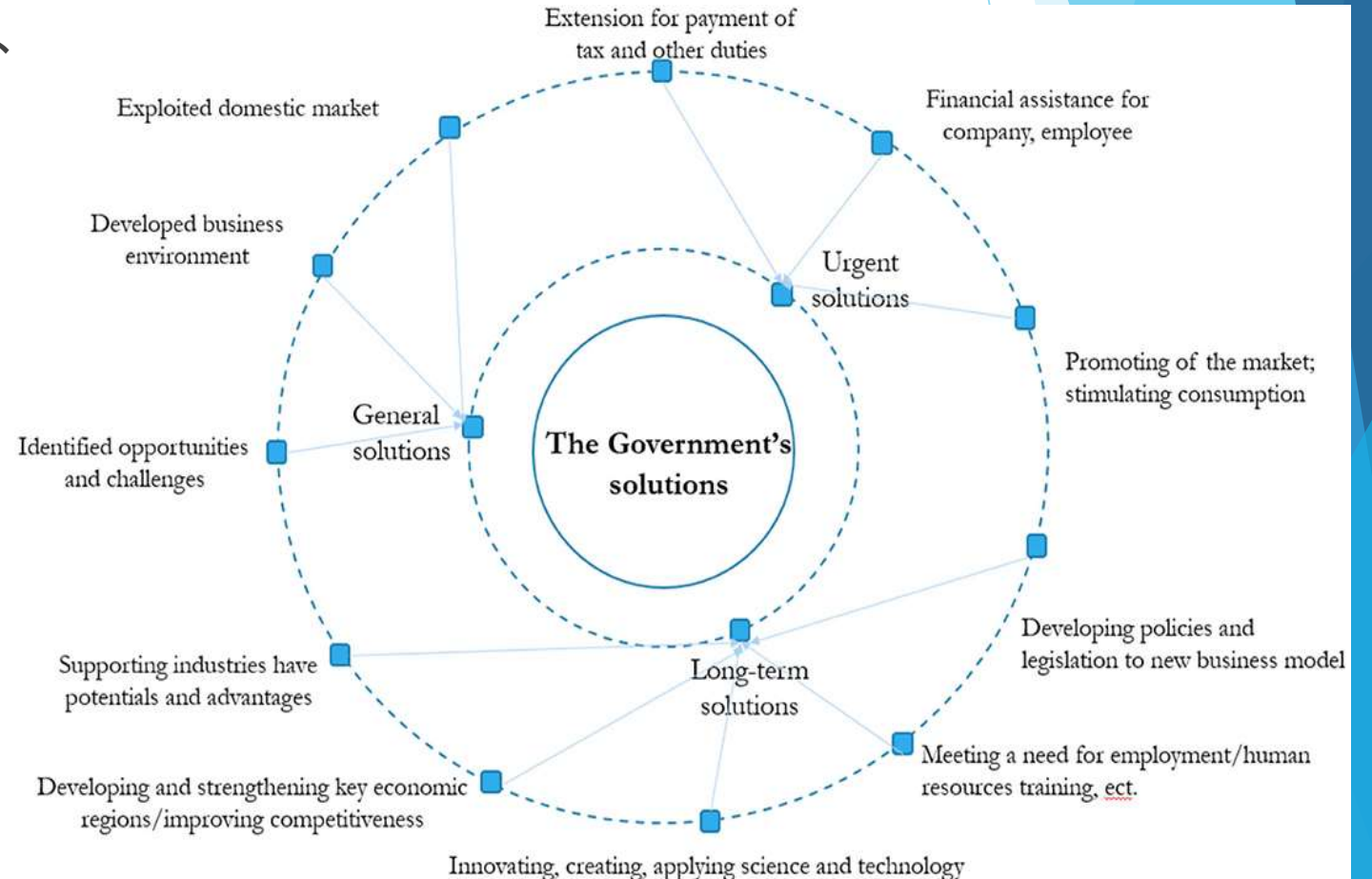
# COVID 19とともに ベトナムにおいて台頭する労働問題

▶ 都市部の生産年齢に達している者の失業率は前四半期から減少したが、2011年～2020年の同期と比較すると依然として最も高い。

2020年の失業率は、2019年から0.31%上昇し、  
2.48%となる見込みである。

政府の失業対策を示す図  
(情報元:

<https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fpubh.2020.590074/full>)





質疑応答

Thank you